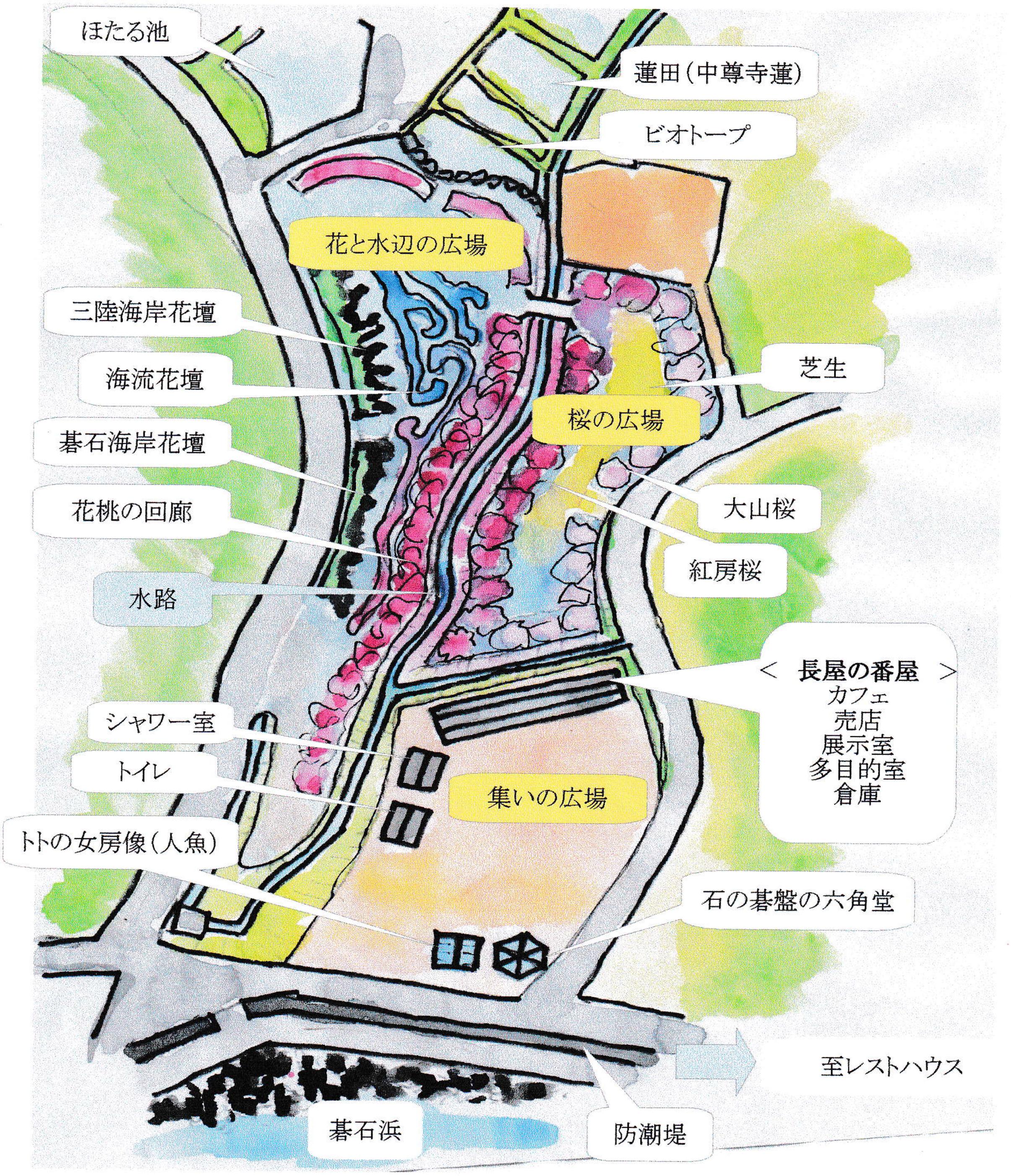
令和4年度　大船渡市　市民活動支援事業　活動報告

団体名　　浜の停車場・碁石プロジェクト

事業名　　被災跡地の利活用による新たな観光スポットづくり

＜事業概要＞

　碁石地区復興まちづくり協議会は、被災跡地の利活用として2015年12月、「浜の停車場・碁石プロジェクト」を立ち上げました。場所は碁石浜の背後地。被災した田んぼを埋め立て、新たな観光スポットづくりを目指して活動しています。
完成計画全体図は以下の通りです。



活動概況（写真）

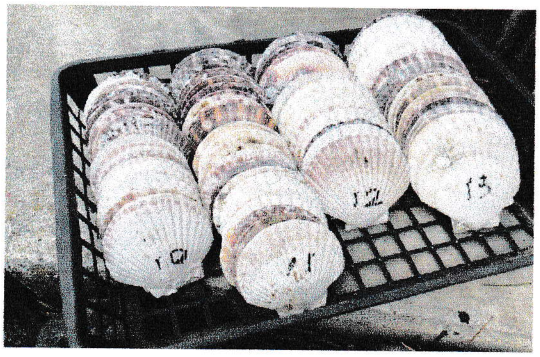
●芝桜の苗作り

桜花壇に植える芝桜は、先に植えた芝桜の挿し穂を採り、挿し芽によって増殖した。

●鹿よけネットの設置

桜花壇に植えた芝桜は、鹿によって喰い荒らされた。再度、苗を植え直し、ネットを設置した。

●ホタテ貝を埋め込んだブロック作り

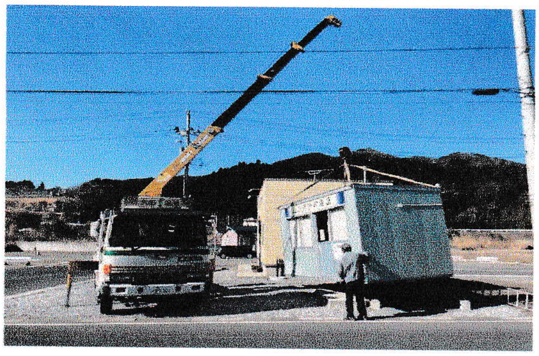


ホタテ貝の整形

来年度から造成する花桃の花壇枠となるコンクリートブロックを、ホタテ貝をを配して作成中。

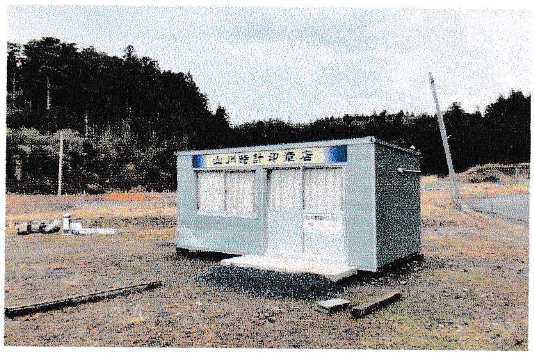
ブロック完成

●譲り受けたプレハブの移設



プレハブの吊り上げ

不要になったプレハブを譲り受け、浜の停車場の集いの広場の一角に移設した。今後の集いの拠点となる。



浜の停車場に移設完了

＜実施効果＞

○ 地域住民の協力 ・・・

漁業活動で発生する廃棄物（塩蔵ワカメ用塩袋、ホタテの貝殻）を提供していただき、塩蔵ワカメ用塩袋は、桜花壇周囲の防草シートとして、ホタテの貝殻花桃の花壇枠として使用するコンクリートブロックの模様として有効活用できた。

○ 花苗の自家製造 ・・・

桜花壇や花桃花壇で多く使用する芝桜の苗は、先に植えた花壇の株から挿し穂を採り、ポット栽培により苗を作った。市販のものを使わず、活動経費を抑えることができた。

○ 鹿の食害防止 ・・・

桜花壇の芝桜を鹿の食害から守るために、竹で骨組みを作り、それにネットを張って設置したが、開花期にはネット越しの鑑賞になるので、見栄えが悪い。将来的には、花壇ごとの防鹿ネットではなく、浜の停車場全周にネットを設置することを検討しなければならない。

○ 集いの広場の拠点づくり開始 ・・・

不要になったプレハブを譲り受け、「集いの広場」の一角に移設した。当初の開発計画は、小規模の建物で構成する「番屋群」を作り、「集い」の拠点とすることでした。そのはじめの一つが実現でき、今後は、その周辺の環境美化と碁石浜を訪れる観光客を対象とした行事、物販を実施していきたい。

＜今後の展開＞

○ 活動は途についたばかりですが、「桜の広場」と「花と水辺の広場」の造成を継続し、花壇づくり、植栽によって憩いの空間づくりを目指す。

○「集いの広場」の埋め立ては間もなく完成しましたが、計画している建造物の具体的構造の検討、「集う」行事内容を計画する。

＜市民のみなさんへ一言＞

○ 活動趣旨に賛同していただける方の参加をお待ちしています。